



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月14日

上場会社名 ティアンドエス株式会社
 コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員業務本部長 (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の業績 (2020年12月1日～2021年2月28日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	586	—	71	—	71	—	50	—
2020年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	14.16	13.14
2020年11月期第1四半期	—	—

(注) 2020年11月期第1四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2020年11月期第1四半期の数値及び2021年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	1,512	1,244	82.3
2020年11月期	1,502	1,212	80.7

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 1,244百万円 2020年11月期 1,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	13.50	13.50
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期 (予想)	—	0.00	—	6.75	6.75

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年11月期の業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,464	8.7	322	5.7	328	7.9	229	△2.9	61.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期1Q	3,713,200株	2020年11月期	3,585,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期1Q	－株	2020年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期1Q	3,595,158株	2020年11月期1Q	－株

(注) 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行い、2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の再発出により社会経済活動が再び制限されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、依然として先行きは極めて不透明な状況であります。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、在宅勤務やオンラインミーティングの活用等、アフターコロナ/ウィズコロナを見据えた新しい形態での事業活動が拡大しており、ITの重要性の高まりとともに業務のIT化の流れが加速しております。当社では当第1四半期累計期間において新型コロナウイルス感染症の事業への直接的な影響は発生しておりません。しかしながら、内外の感染再拡大による経済の下振れリスクや雇用環境への影響など、引き続き注意する必要がある状況であります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成をソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリ構造とし事業展開しております。上記のような経済環境のなか「ソリューションカテゴリ」では産業領域に特化せずIT人材の供給を継続し、IT開発を支える事業の拡大を図ってまいりました。「半導体カテゴリ」では工場内システムの保守及び運用サービスや、ITヘルプデスク等半導体工場のITインフラストラクチャー運用支援全般の事業の拡大を図ってまいりました。「先進技術ソリューションカテゴリ」ではAI関連製品を開発中のお客様向けのソリューション提供の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高586,564千円、営業利益71,508千円、経常利益71,781千円、四半期純利益50,896千円となりました。

当第1四半期累計期間におけるカテゴリ毎の経営成績は次のとおりであります。

①ソリューションカテゴリ

当第1四半期累計期間の売上高は、454,682千円となりました。

工場・プラント関連の管理システムの開発をはじめ、主要得意先からの受注が順調に推移し、受託開発案件の受注増が売上に寄与しました。

②半導体カテゴリ

当第1四半期累計期間の売上高は、111,007千円となりました。

主要得意先からの受注が順調に推移し、半導体工場における保守・運用サービスに係わる派遣エンジニアの増員が売上に寄与しました。

③先進技術ソリューションカテゴリ

当第1四半期累計期間の売上高は、20,874千円となりました。

AIアルゴリズム研究開発支援サービスを中心に、既存得意先からの継続受注が順調に推移したことに加え、新規取引先からの受注が寄与しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,425,951千円となり、前事業年度末に比べ18,454千円増加いたしました。これは主に仕掛品が検収タイミングの関係で16,197千円増加したことによるものであります。固定資産は86,603千円となり、前事業年度末に比べ8,821千円減少いたしました。これは主に冬季賞与の支給に伴い繰延税金資産が8,242千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,512,555千円となり、前事業年度末に比べ9,632千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は220,023千円となり、前事業年度末に比べ23,581千円減少いたしました。これは主に冬季賞与の支給に伴い未払費用が34,975千円、税金の支払に伴い未払法人税等が24,595千円、未払消費税等が14,614千円減少し、賞与引当金が17,582千円、未払金が17,057千円、預り金が10,121千円増加したことによるものであります。固定負債は48,254千円となり、前事業年度末に比べ1,288千円増加いたしました。これは退職給付引当金が1,288千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は268,278千円となり、前事業年度末に比べ22,293千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,244,277千円となり、前事業年度末に比べ31,925千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により50,896千円増加し、配当により24,202千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2021年1月14日の「2020年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,016,928	1,024,808
売掛金	250,442	246,193
仕掛品	6,147	22,344
未収入金	121,206	124,254
その他	13,672	9,249
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	1,407,497	1,425,951
固定資産		
有形固定資産	23,542	22,760
無形固定資産	1,178	1,063
投資その他の資産	70,704	62,779
固定資産合計	95,425	86,603
資産合計	1,502,923	1,512,555
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,473	69,633
未払法人税等	42,326	17,730
賞与引当金	5,822	23,405
その他	130,981	109,253
流動負債合計	243,604	220,023
固定負債		
退職給付引当金	38,895	40,183
その他	8,071	8,071
固定負債合計	46,966	48,254
負債合計	290,571	268,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,600	337,215
資本剰余金	285,929	288,545
利益剰余金	591,821	618,515
株主資本合計	1,212,351	1,244,277
純資産合計	1,212,351	1,244,277
負債純資産合計	1,502,923	1,512,555

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	586,564
売上原価	413,845
売上総利益	172,718
販売費及び一般管理費	101,210
営業利益	71,508
営業外収益	
受取利息	3
助成金収入	330
その他	0
営業外収益合計	333
営業外費用	
株式交付費	60
その他	0
営業外費用合計	60
経常利益	71,781
税引前四半期純利益	71,781
法人税、住民税及び事業税	12,642
法人税等調整額	8,242
法人税等合計	20,884
四半期純利益	50,896

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。